

令和7年度 特別の教育課程の実施状況

文化学園大学杉並中学・高等学校

〔Ⅰ〕自己評価

本校ダブルディプロマコースは、文化学園大学杉並中学・高等学校とカナダ、British Columbia（以下、BC）州立高校の海外校である Bunka Suginami Canadian International School（以下、BSCIS）に同時に在籍し、両校のカリキュラムを修了するプログラムである。現在この課程を中等教育全6学年で展開しているが、その教育内容は十分に機能し、有意義な教育活動が展開できていると分析している。同教育課程の効果は、単なるイマージョン教育による語学力の向上にとどまらず、協調性や調和に重きを置く日本的な価値観を学びながら、同時に批判的思考や創造的思考の熟成にまで手を届かせるBC州の教育課程を体験することは、特に価値観形成において、一般的な教育課程では得難い深い変容を生徒にもたらしている。

同コースの教育活動の真価は、数値では表せない生徒の変容にあるが、大学進学実績にもその成果は表れている。令和8年度入試では、私立大学最難関群である「早慶上理ICU」に延べ20名が合格した。また国公立大学群では、東京外国語大学への進学者が輩出された。さらに、海外大学からは、延べ47校からの合格を受けた。このうち、Quacquarelli Symonds 社（QS）が公表する「QS世界大学ランキング2026」において世界100位以内にランクインした大学が25校含まれる。

〔Ⅱ〕自己評価を踏まえた学校関係者（当該学校の教員を除く）による評価

ダブルディプロマコースの優位点は大きく分けて3つある。

1. 日本で初めてBC州の教育課程を取り入れ、2つの学校の教育課程を融合させたコースで開設以来11年となるが、着々と成果を上げてきている。文化学園大学杉並中学・高等学校の堅固な教育基盤の上に、知識のみならず教養と「智慧」を兼ね備えた国際人の育成を目指している。カナダの教育課程と日本の社会・歴史・文化を英語で比較・対比しながら学ぶことにより、両国と国際社会の理解をより深め、生徒の世界観を広げている。生徒は、このコースで身に着けた知識や智慧を発信することができるようになってきている。このことは外部の来訪者からのフィードバックからも明らかである。さらに令和4年度より中学1年にもダブルディプロマコースを新設し、BC州教員免許保持者による授業を週17コマ（英語10、数学5、理科2）行えることになった。このことにより、より早い時期から生徒は、BC州の教育に触れることができ、学校全体として語学力や教養、発信力が底上げされたように感じられる。
2. PBLの推進：このプレゼンテーションを通して学ぶ学習法は、相対的に見て非常に理にかなった学習法である。発表者は、準備することからまず学び、そのプレゼンテーションを聴く生徒は、リスニング力や質問や意見を構築する力、すなわちクリティカルシンキング力を高めている。

生徒達のためのプレゼンテーションではなく、外部の教育関係者や実業界で成功を収めた人物を招聘し、生徒達が実際に外部との接触を英語で行う実践的学習となり成果を上げている。また中学 1 年より PBL 型の授業に取り組むことにより、これまでの中学 1 年の生徒に比べ、深い思考力、プレゼンテーション力を発揮することが出来るようになった。またこの PBL 型の授業スタイルを杉並学園校教育課程の全教科の授業に取り入れ、学校全体が PBL 型の授業を行えるようになってきており、生徒の思考力、プレゼンテーション能力が向上した。

3. 校外学習：教室内で学習した知識や習得したスキルを実際に試してみる学習は、生徒達の学びを実体験させる効果的な学習となっている。国内での校外学習はもとより、高校 1 年次の Gr.10 カナダサマープログラムで、ホームステイを 1 か月間体験しながら、Drama と Computer Science を履修することは、主に語学力や異文化理解において、同コースで高校 3 年間で過ごす自信を育む貴重な機会になっている。

提案：大学レベルの学びに触れる機会の充実

生徒の進路希望が多様化する中、海外大学との連携を活用しながら、大学レベルの学びに触れる機会を充実させてほしい。こうした経験を通じて、生徒が自身の興味・関心を深め、より主体的に進路を選択できるようになることを期待したい。

外部評価（文化学園大学 元主任教授：坂本 政子）

[Ⅲ] 課題の改善のための取り組みの方向性

本コースでは、これまでの教育活動を通じて、生徒の語学力や異文化理解に加え、主体的な学びや発信力の育成において一定の成果を上げてきた。一方で、生徒の進路希望や学問的関心が多様化する中、大学での学びをより具体的に体験し、将来の進路選択につなげる機会の充实在課題となっている。

この課題に対応するため、令和 9 年度より、ブリティッシュコロンビア大学（UBC）が実施する「Future Global Leaders（FGL） On-Campus Program」への参加機会を提供する予定である。同プログラムでは、大学教員等による大学レベルの授業を受講しながら、多様な学問分野に触れることができる。今後も海外大学との連携を推進し、生徒が学問的関心を深めるとともに、主体的な進路選択につながる教育機会の充実を図っていきたい。

《出典》

Quacquarelli Symonds. (2025). QS World University Rankings 2026.

以上